

2000年2月17日

「高校生と薬物」 報告書

(1999年11月中旬~12月上旬調査)

調査の設計	1
概要	3
単純集計	4
調査の結果	8
調査票	25

調査の設計

調査の目的

国際犯罪や社会不安の広がりの中で、麻薬や覚せい剤などの薬害禍は私たち一般人の生活にも侵入し、深刻な事犯が聞かれる状況に至っている。こうした環境のもとで、若い世代がどのように受け止め、自らはどう行動したいと考えているのか。

長野市を中心とする7つのライオンズクラブと長野県世論調査協会は、こんご社会全体で取り組むべき方向に手がかりを得て、薬害防止キャンペーンに役立てていくため、地域内の公立・私立高校17校を対象に、共同調査事業として、地域の高校生の率直な声を聞いた。

調査の設計

調査対象 長野地域の高校生男女 1635人
調査方法 留置き（各校ごとに配布・回収）
調査期間 1999年11月中旬～12月上旬

サンプルの内訳

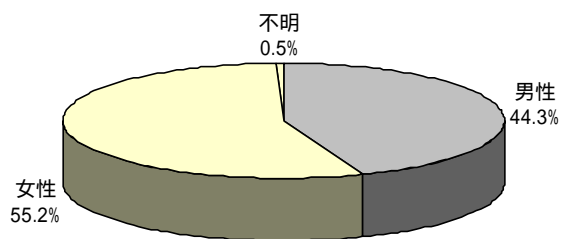
< 調査対象高校名 >

更科農業高等学校	犀峽高等学校
皐月高等学校	篠ノ井旭高等学校
篠ノ井高等学校	中条高等学校
長野吉田高等学校	長野工業高等学校全日制
長野工業高等学校定時制	長野高等学校
長野女子高等学校	長野商業高等学校
長野清泉女学院高等学校	長野西高等学校
長野東高等学校	長野南高等学校
長野日本大学高等学校	文化女子大学附属長野高等学校

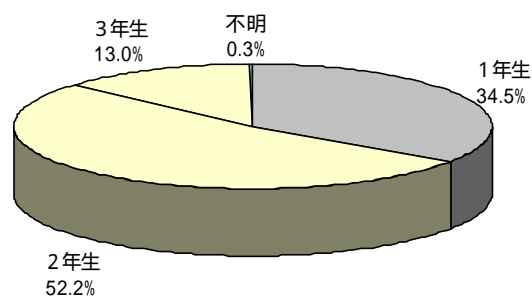
（順不同）

< 性別と学年 >

男性	724	44.3%
女性	903	55.2%
不明	8	0.5%



1年生	564	34.5%
2年生	854	52.2%
3年生	212	13.0%
不明	5	0.3%



調査参加団体

長野中央ライオンズクラブ	長野篠ノ井ライオンズクラブ
長野白樺ライオンズクラブ	長野みすずライオンズクラブ
長野りんどうライオンズクラブ	長野アップルライオンズクラブ
信州新町ライオンズクラブ	長野県世論調査協会

調査の概要

薬物に関心が「非常にある」は3.9%、「まあまあある」は19.7%となった。これらの薬物に関心のある層で、薬物について見聞いた手段は「テレビのニュース・番組」がトップで、以下「学校の授業・講演会」、「新聞・雑誌」、「テレビドラマ・映画」と続いた。薬物に興味を持つ過程でマスコミの影響が強いことがわかる。「薬物の依存性」については9割強が「知っている」と答え、麻薬や覚せい剤、シンナーなどの薬物の名を耳にしたときに思い浮かべる事柄では「犯罪」がトップで「中毒・廃人」が2位となった。

薬物の使用を誘われた際にことわる自信についても8割強が「ある」としている。自信の理由では「依存性があり心身に深刻な影響が出るから」がトップで、「幻覚や妄想で犯罪を犯すから」が2位。薬物に関して長野地域の高校生はおおむね正しい知識を持っているといえる。

薬物被害防止のキャンペーン・スローガンの「ダメ。ゼッタイ。」を「知っている」としたのは6割弱にとどまり、4割強が「知らない」現状となっている。また薬物をテーマにした授業や講演会の出席の経験も4割近くが「ない」と答えている。キャンペーン・スローガンを知っている生徒や、授業や講演会の出席経験がある生徒では薬物問題に対する理解が進んでおり、薬物被害防止にこうした啓発活動が効果的であるといえる。

友人や知り合いが薬物に関係した場合に「しばらく様子を見る」が43.7%、「そのまま放っておく」が15.4%となった。高校生の中には他者の問題に対して、無関心や放任的な傾向もある。

また自分の悩みを相談する相手は「友人」が5割突破。「母親」「きょうだい」「父親」など肉親を大きく引き離した。「だれにも相談しない」は13.8%で3位となり、孤立しがちな高校生の姿もうかがわれる。「学校の先生」は1.2%と低く、高校生の学校離れの傾向が強い。

高校生の非行で問題があると思うことで「覚せい剤やシンナーなどの薬物の乱用」は3位だった。1位は「刃物などを使った殺傷事件」が挙げられ、次いで「いじめの問題」が入った。

単純集計

「ダメ。ゼッタイ。」認知度は6割弱

問1 あなたは「ダメ。ゼッタイ。」というキャンペーン・スローガンを知っていますか。(SA)		
知っている	933	57.1%
知らない	701	42.9%
不明	1	0.1%

薬物に関心「ある」2割強「全くない」4割弱

問2 あなたは、麻薬や覚せい剤、シンナーなどの薬物のことに関心がありますか。(SA)		
非常にある	63	3.9%
まあまあある	322	19.7%
あまりない	548	33.5%
全くない	606	37.1%
わからない	88	5.4%
不明	8	0.5%

薬物についての見聞「テレビ」トップ

問3 (問2で関心があると答えた方へ)あなたは、どんな手段で薬物のことを聞いたり知ったりしましたか。(3つ以内)(MA)		
テレビのニュース・番組	215	55.8%
学校の授業 講演会	210	54.5%
新聞 雑誌	156	40.5%
テレビドラマ 映画	154	40.0%
薬害防止のビデオ	105	27.3%
知人・友人	74	19.2%
「ダメ。ゼッタイ。」のキャンペーンポスター	62	16.1%
国や地方自治体の広報チラシ・パンフレット	44	11.4%
家族から	22	5.7%
その他	18	4.7%
とくにない	2	0.5%
不明	2	0.5%

薬物は「自分とは無関係」3割弱

問4 あなたは、麻薬や覚せい剤、シンナーなどの薬物の名を耳にした時、どんなことを思い浮かべますか。(2つ以内)(MA)		
犯罪	961	58.8%
中毒・廃人	876	53.6%
自分とは無関係	446	27.3%
暴力団	308	18.8%
ハイな気分	164	10.0%
その他	102	6.2%
とくにない・わからない	52	3.2%
カッコいい	23	1.4%
不明	4	0.2%

薬物の依存性「知っている」9割半ば

問5 あなたは、薬物には繰り返して使いたくなる「依存性」という特性があることを知っていますか。(SA)		
知っている	1539	94.1%
知らない	91	5.6%
不明	5	0.3%

薬物の誘惑「ある」2.4%「断る自信ない」2.1%

問6 あなたは、これまで知り合いや友達から、薬物を使うことを誘われたことがありますか。(SA)		
ある	40	2.4%
ない	1535	93.9%
なんともいえない	57	3.5%
不明	3	0.2%

問7 あなたは、友人や知り合いから、もし薬物の使用を誘われたら、こたわる自信がありますか。(SA)		
ある	1387	84.8%
ない	34	2.1%
なんともいえない	207	12.7%
不明	7	0.4%

断る理由は「依存性」「犯罪」の恐れ上位

問8 (問7で「ある」とお答えの方へ)それはどんな理由からですか。(2つ以内)(MA)		
依存性があり心身に深刻な影響が出るから	1153	83.1%
幻覚や妄想で犯罪を犯すから	753	54.3%
悪い仲間や暴力団に関係するから	407	29.3%
お金がかかるから	234	16.9%
未成年だから	21	1.5%
不明	19	1.4%

問9 (問7で「ない」とお答えの方へ)それは、どんな理由からですか。(2つ以内)(MA)		
幻覚気分を味わってみたいから	16	47.1%
気分が晴れると思うから	13	38.2%
仲間はずれにされたくないから	11	32.4%
だれもが経験できずカッコ良さそげだから	6	17.6%
1回だけの遊びのつもりで	3	8.8%
不明	6	17.6%

問10-A 薬物問題は暴力団などの絡む問題であり、高校生にさし迫った影響はない。(SA)		
そう思う	78	4.8%
そうは思わない	1210	74.0%
なんともいえない	341	20.9%
不明	6	0.4%

「薬物を使うのは個人の自由」14%

問10-B 薬物を使うのは個人の自由であり、他人に迷惑をかけなければよい。(SA)		
そう思う	231	14.1%
そうは思わない	1027	62.8%
なんともいえない	372	22.8%
不明	5	0.3%

「薬物は上手に使えば心配なし」3.7%

問10-C 覚せい剤などの薬物は上手に使えば、医師や薬剤師の指示がなくても、あまり心配はない。(SA)		
そう思う	60	3.7%
そうは思わない	1281	78.3%
なんともいえない	287	17.6%
不明	7	0.4%

問11 あなたは、もし友人や知り合いが薬物に関係したり関係ありそうだと分かった場合、まずどんな行動をとると思いますか。(2つ以内)(MA)		
やめるよう説得する	1006	61.5%
しばらく様子を見る	714	43.7%
友達に相談する	691	42.3%
そのまま放っておく	252	15.4%
学校 先生に相談する	147	9.0%
警察に届ける	100	6.1%
本人の親に知らせる	93	5.7%
保健所に届ける	29	1.8%
不明	10	0.6%

薬物問題の防止策「社会の啓発」トップ

問12 あなたは、いまの高校生が薬物問題を起こさないようにするには、どんな対策が必要だと思いますか。(2つ以内)(MA)		
社会全体で啓発する	655	40.1%
マスコミが興味本位に扱わない	433	26.5%
友達同士で注意する	388	23.7%
暴力団を取り締まる	380	23.2%
家庭で気をつける	277	16.9%
学校で指導する	253	15.5%
良くない遊び場をなくす	180	11.0%
その他	76	4.6%
わからない 特になし	157	9.6%
不明	12	0.7%

薬物の授業・講演会に「出席」6割

問13 あなたは、これまでに薬物をテーマにした授業や講演会に出席したことがありますか。(SA)		
ある	1001	61.2%
ない	622	38.0%
不明	12	0.7%

悩みの相談は「友人」5割 「父親」「先生」低く

問14 あなたは、もし深刻な悩みにぶつかったら、だれに一番相談したいと思いますか。(1つ)(SA)		
友人	841	51.4%
母親	299	18.3%
きょうだい	85	5.2%
知り合い	72	4.4%
父親	54	3.3%
学校の先生	20	1.2%
そのほかの肉親	8	0.5%
だれにも相談しない	226	13.8%
不明	30	1.8%

非行で深刻なのは「殺傷事件」トップ 「薬物」三番手

問15 高校生の非行のうち、あなたがもっとも問題があると思うのは何ですか。(2つ以内)(MA)		
刃物などを使った殺傷事件	819	50.1%
いじめの問題	605	37.0%
覚せい剤やシンナーなどの薬物の乱用	523	32.0%
「オヤジ狩り」などの強盗・恐喝事件	458	28.0%
家族への暴力など家庭内の問題	288	17.6%
援助交際など性的問題	283	17.3%
とくにない・わからない	67	4.1%
不明	30	1.8%